

算数 学習相談		学研教育情報資料センター 小 / 算数 / 5年 / 数と計算 / 分母がちがう分数のたし算 / 理解シート
------------	---	--

真分数 + 真分数 = 真分数の計算は，どうすればいいの

(真分数+真分数=真分数)



$\frac{2}{3}$ と $\frac{1}{7}$ ， $\frac{5}{8}$ と $\frac{1}{6}$ を，それぞれ通分して，分母を同じにすれば計算できたね。分子だけをたせばいいんだよ。



下の分数のたし算をしましょう。

① $\frac{2}{3} + \frac{1}{7} = \frac{14}{21} + \frac{3}{21}$ ・通分する。分母は，3と7の最小公倍数の21。
 $= \frac{17}{21}$

・ $\frac{2}{3} = \frac{2 \times 7}{3 \times 7} = \frac{14}{21}$ $\frac{1}{7} = \frac{1 \times 3}{7 \times 3} = \frac{3}{21}$

・分母はそのまま，分子だけたす。

② $\frac{2}{3} + \frac{5}{18} = \frac{12}{18} + \frac{5}{18}$ ・通分する。分母は，3と18の最小公倍数の18。
 $= \frac{17}{18}$

・ $\frac{2}{3} = \frac{2 \times 6}{3 \times 6} = \frac{12}{18}$ $\frac{5}{18}$ はそのまま。

・分母はそのまま，分子だけたす。

③ $\frac{5}{8} + \frac{1}{6} = \frac{15}{24} + \frac{4}{24}$ ・通分する。分母は，8と6の最小公倍数の24。
 $= \frac{19}{24}$

・ $\frac{5}{8} = \frac{5 \times 3}{8 \times 3} = \frac{15}{24}$ $\frac{1}{6} = \frac{1 \times 4}{6 \times 4} = \frac{4}{24}$

・分母はそのまま，分子だけたす。